

# 鳥取縣公報

第五百七十三號  
昭和九年十一月十三日

火曜日

## 告示

◆鳥取縣告示第五百六十七號

左記ニ依リ女子蠶種検査吏員ヲ養成スル講習ヲ開催可致ニ付希望者ハ別記様式ニ依ル講習願ニ履歷書竝戸籍抄本相添ヘ所轄蠶業取締所支所ヲ經由シ提出スベシ

昭和九年十一月十三日

鳥取縣知事 中 谷 秀

一 募集人員 約二十名

二 資格

1. 十六歳以上二十歳未満ノ女子
2. 品行方正身体强健ニシテ視力ニ妨ゲナキモノ

00797

3. 修業年限二箇年以上ノ高等小學校卒業若ハ之ト同等以上ノ者

三 出願期限 昭和九年十一月二十日

四 採用試験 昭和九年十一月二十六日午前九時

五 試験科目 國語、算術、口頭試問

六 受験場所 米子市立町 蠶業取締所米子支所

東伯郡倉吉町 同 倉吉支所

七 講習場所 右ニ同

八 講習期間 昭和九年十二月一日ヨリ三箇月

九 講習修了者ニハ修業証書ヲ交付ス

一〇 其ノ他詳細ハ蠶業取締所支所ニ付照會スベシ

別記 様式

講習願

私儀

蠶種検査吏員講習相受度候間御許可相成度別紙履歷書竝戸籍抄本

00798

相添へ此段相願候也

年 月 日

現住所

戸主又ハ戸主トノ續柄

氏 名 年 月 日 生

保 證 人 氏 名 生 日 年 月 日 氏 名

知 事 宛

(別紙)

履 歷 書

本 籍 地

現 住 所

族 籍 氏 名

年 月 日 生

一 學 業

一業務  
一賞罰

右之通相違無之候也

年 月 日

右 氏 名 印

◆鳥取縣告示第五百六十八號

昭和九年十一月七日左記ノ者ニ對シ動力糶摺業免許證ヲ下付セリ

昭和九年十一月十三日

鳥取縣知事 中 谷 秀

免許証番號

住 所

氏 名

七 九 八

八頭郡八東村大字横田 一二〇

森 下 茂 昌

◆鳥取縣告示第五百六十九號

八頭郡佐治村尾際耕地整理組合設計書變更ノ件認可セリ

昭和九年十一月十三日

鳥取縣知事 中 谷 秀

◆鳥取縣告示第五百七十號

昭和九年十月產婆名簿登錄事項ノ訂正セシ者左ノ如シ

昭和九年十一月十三日

鳥取縣知事 中 谷 秀

七 九 九 東伯郡北谷村大字澤谷 一二七 野 島 龜 男

八 〇 〇 岩美郡大茅村大字雨瀧 二〇九 太 田 最 一

八 〇 一 東伯郡以西村大字山川 二二六 那 須 松 藏

00801

住所 鳥取縣西伯郡幡鄉村大字諸木八二番地

昭和九年九月十三日前住所並開業地鳥取縣米子市角盤町

一丁目八一番地ヨリ移轉產婆名簿登錄事項訂正方出願ニ

對シ昭和九年十月十九日訂正

岩 田 次 枝

◆鳥取縣告示第五百七十一號

市街地建築物法施行細則第二十五條ニ依リ左ノ通假設建築物建築ノ件許可セリ

昭和九年十一月十三日

鳥取縣知事 中 谷 秀

一 建築主ノ住所氏名 鳥取市大工町頭二四番地ノ二

浦 野 春 壽

一 建築物ノ所在地 鳥取市大工町頭二十八番地ノ二

一 用途 住宅

00802

一 構造 種別 木造 瓦葺 二階建

一 建築物ノ面積 建築面積 四〇〇・〇四六平方  
突出セル部分 二〇〇・八七四平方  
米

一 戸數及棟數 一戸 一棟

一 命令事項

一 本建築ノ存續期限ハ都市計劃事業實施迄トス

一 前項ノ存續期限滿了ノ時ハ都市計劃事業實施者ノ指定スル期日内ニ無償ニテ本建築物ヲ除却ス  
ベシ

一 本建築物ヲ他人へ讓渡シタル場合ハ十日以内ニ届出ヅベシ

一 知事必要アリト認ムルトキハ本命令書ノ條項ヲ増減若ハ變更スルコトアルベシ

◆鳥取縣告示第五百七十二號

健康保險法施行規則第二十三條ニ依リ交付シタル被保險者證中左ノモノハ之ヲ無効トス

昭和九年十一月十三日

鳥取縣知事 中 谷 秀

記號	番號	被保險者氏名	工場所在地 並工場名	無効トセル 被保險者證 交付年月日	無効トナリ タル年月日	備考
やれ	六二	杉山千代子	日野郡黒坂村 山形製絲所	昭和八年 三月二十二日	昭和九年 十月一日	減失
いひ	二一	種部トミ	東伯郡倉吉町 今井製糸所	昭和八年 十一月七日	昭和九年 十月三十日	減失
ひり	二	福田義治	日野郡日野上村 日野製材所	昭和八年 八月十三日	昭和九年 十月一日	減失

◆鳥取縣告示第五百七十三號

昭和八年七月鳥取縣告示第二百九十一號林產物ノ規格中左ノ通改正シ昭和九年十一月十五日ヨリ施行ス

昭和九年十一月十三日

鳥取縣知事 中 谷 秀

第三條 挽角品等表ノ末尾ニ左ノ通追加ス

品等	節		木口割 又ハ目廻	其ノ他ノ 缺點
	丸身	丸身長		

等外	節ノ制限ナシ	九〇%以下	制限ナシ	五〇%以下	其ノ他ノ缺點(一)及(二)ニシテ長徑三〇糎未満 ノモノ(三)ニシテ顯著ナラザルモノ(四)ニシテ 顯著ナルモノ
----	--------	-------	------	-------	--

第五條 第二種木炭(黒炭)規格表撰別中「クヌギアベマキ」ヲ「クヌギ」ニ「ナラ類」ヲ「ナラ類アベマキ」ニ量目中正味ヲ「一五疚」ニ風袋ヲ「三疚以内」ニ俵裝一ヲ「俵ハ葺造リ四ヶ所編ミトシ全幅五〇糎編幅一米三・六糎内外トス」ニ改メ俵裝三ノロノ但書及四ノ但書ヲ削ル

同條規格表ノ末尾任意規格ヲ左ノ通改ム  
 縣内消費木炭ニ限リ縦繩ハ之ヲ廢スルコトヲ得  
 第一種木炭ノ内特ニ「クヌギ」「アベマキ」ヲ撰別調製シタルモノハ「櫟」ト稱スルコトヲ得  
 第一種木炭稱呼「櫟」及「楡」ノ内長邊三糎以上六糎未滿長サ九糎以上ノ割ヲ撰別調製シタルモノハ「割」ト稱スルコトヲ得當分ノ内第二種木炭ハ正味量目一八疚七五ノモノ第三種木炭ハ正味量目二二疚五ノモノヲ調製スルコトヲ得但シ此場合俵ノ全幅ハ第二種木炭ハ五三糎第三種木炭ハ六四糎トス

彙 報

鳥取縣下ニ於ケル昭和九年九月二十、二十一日兩日ニ亘ル風水害ニ對スル義捐金トシテ左ノ通寄贈方申出アリタリ

記

